

科目 ナンバー	10SE401、 05HS401	対象学科・ コース	経済学部	専門・総合・教職	専門科目
				配当学年	4年以上
主 学 科	経済学部	要 件	必修科目	授業区分	
授 業 科 目 名	専門ゼミⅡ			担当形態	単独
	Seminar on Specialized Subjects II			担当教員	河田 正樹
開 講 期	通年	単位数	4単位	オフィスアワー(常勤教員のみ)	

添付ファイル

② 授業方法

■ 講義

■ 演習

□ 実技

□ その他

③ 授業形態

■ 対面

□ ハイフレックス

□ オンライン

□ オンデマンド

④ 授業のテーマ及び到達目標

このゼミでは『経済分析と統計的方法』についての研究をおこないます。経済諸現象の背後にはさまざまな因果関係が存在しています。この因果関係について一歩踏み込んで数量的に把握しようとする場合、統計データを用いて、統計的方法による分析(実証分析)をおこなうことが必要となります。

このゼミでは、経済をはじめとするさまざまな社会現象についての実証分析、および統計分析の手法とその応用を研究対象とします。

【到達目標】

① 各自の設定したテーマについて、主体的に取り組むことができる。

② 各自の設定したテーマについて、十分な知識を得ることができる。

③ 各自の設定したテーマについて、解決のヒントとなる考察をおこなうことができる。

⑤ 授業の概要

専門ゼミⅠに引き続き、各自の関心のあるテーマについて、調べて発表していきます。文章化し、最終的に論文にまとめることも必要となっていきます。

⑥ 対応するディプロマ・ポリシー（専門科目のみ）

■ 知識及び技能の習得

■ 思考力・判断力・表現力等の養成

■ 主体性・多様性・協調性の養成

□ 地域貢献に関する意識の醸成

https://www.shunan-u.ac.jp/faculty/diploma_curriculum_policy/

⑦ 教科書

書籍無し

⑧ 参考図書

書籍無し

⑨ 履修上の注意	【先修条件科目 必須】	統計学基礎、データサイエンス入門、専門ゼミⅠ
	【先修条件科目 推奨】	中級統計学、経済統計、計量経済学
	【持参物】	
	【その他】	

⑩ 評価基準

① 主体性 ② 知識 ③ 考察 について、「学生に対する評価」の内容で評価します。

「その他」は完成した卒論を通して評価します

⑪ 学生に対する評価

試験	小テスト	レポート	発表・実技	ポートフォリオ	その他	合計
			30%		70%	100%

⑫ 担当教員からのメッセージ（予習・復習内容・時間にも言及）

きちんとした卒論を書くことは、簡単ではありません。その困難を乗り越えた先には、充実感が待っています。一緒に頑張りましょう！

【予習・復習について】

予習…発表のための準備をしてくること。

復習…発表の際に指摘されたことを修正し、理解を深めること。

※ 予習・復習合わせて90分程度行うことになります。

⑬ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス 卒論をすすめるにあたって	講義 演習	河田 正樹
2	卒論計画発表(1) 各自の論文研究計画発表	講義 演習	河田 正樹
3	卒論計画発表(2) 各自の論文研究計画発表	講義 演習	河田 正樹
4	研究発表(1) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
5	研究発表(2) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
6	研究発表(3) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
7	研究発表(4) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
8	研究発表(5) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
9	研究発表(6) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
10	研究発表(7) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
11	研究発表(8) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
12	研究発表(9) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
13	研究発表(10) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
14	研究発表(11) 各自の研究発表	講義 演習	河田 正樹
15	卒論計画発表(3) 各自の論文研究計画発表	講義 演習	河田 正樹
16	卒論経過発表(1) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
17	卒論経過発表(2) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
18	卒論経過発表(3) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
19	卒論経過発表(4) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
20	卒論経過発表(5) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
21	卒論経過発表(6) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
22	卒論経過発表(7) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
23	卒論経過発表(8) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
24	卒論経過発表(9) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
25	卒論経過発表(10) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
26	卒論経過発表(11) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
27	卒論経過発表(12) 各自の論文経過発表	講義 演習	河田 正樹
28	卒論の作成	講義 演習	河田 正樹
29	卒論の完成	講義 演習	河田 正樹
30	卒論報告会と振り返り	講義 演習	河田 正樹
⑭ 科目等履修制度			
☐ 科目等履修生(学生以外の一般履修者 若干名)を受け入れてもよい。 ☒ 科目等履修生を受け入れることはできない。			
⑮ 実務家教員担当科目に関する記載			

科目 ナンバ	10SE401、 05HS401	対象学科・ コース	福祉情報学部	専門・総合・教職	専門科目
				配当学年	4年以上
主 学 科	福祉情報学部	要 件	必修科目	授業区分	
授 業 科 目 名	専門ゼミⅡ			担当形態	単独
	Seminar on Specialized Subjects II			担当教員	児玉 満
開 講 期	通年	単位数	4単位	オフィスアワー(常勤教員のみ)	

添付ファイル

② 授業方法

☒ 講義
☒ 演習
☐ 実技
☒ その他

③ 授業形態

☒ 対面
☐ ハイフレックス
☐ オンライン
☐ オンデマンド

④ 授業のテーマ及び到達目標

最終的には、卒業研究として成果をあげることにあります。教育目標では[1]「主体性を持った意欲ある人材」、[3]「現実的な知識と手法を備え、問題解決能力を持った人材」を育成することを実践を通じて達成するための授業科目です。

(i) 専門性にかかる知識もしくは技術の習得
 (ii) 専門性にかかる調査演習とまとめる力、発表する力の修得
 (iii) 問題を見つけ出す力の獲得
 (iv) 卒業論文の完成

⑤ 授業の概要

専門ゼミⅡで修得した、ICTやIoT、AIなど情報技術の日常的な利活用や関わりについてより理解を深化させ、卒業研究に取り組みます。なお、卒業論文テーマの主題は、主として様々な情報技術の日常的な利活用や関わりとします。

⑥ 対応するディプロマ・ポリシー（専門科目のみ）

☒ 知識及び技能の習得
☐ 思考力・判断力・表現力等の養成
☒ 主体性・多様性・協調性の養成
☐ 地域貢献に関する意識の醸成

https://www.shunan-u.ac.jp/faculty/diploma_curriculum_policy/

⑦ 教科書

書籍無し

⑧ 参考図書

1冊目

書籍名	ITナビゲーター2023年版	発行年	2022 年
著作者名	ICTメディアコンサルティング部	出版社	東洋経済新報社
金額(税込)	2,860 円	I S B N	978-4-4925-0337-9
学内販売	なし		

⑨ 履修上の注意	【先修条件科目 必須】	専門ゼミⅠ
	【先修条件科目 推奨】	情報系科目
	【持参物】	ノートパソコン
	【その他】	なし

⑩ 評価基準

(i) 専門性にかかる知識もしくは技術の習得 (ii) 専門性にかかる調査演習とまとめる力、発表する力の修得 (iii) 問題を見つけ出す力の獲得 (iv) 卒業論文の完成
 上記、(i)～(iv)に関する理解度を卒論50%、レポート20%、実技15%、ポートフォリオ15%で評価する。

⑪ 学生に対する評価

試験	小テスト	レポート	発表・実技	ポートフォリオ	その他	合計
		20%	15%	15%	50%	100%

⑫ 担当教員からのメッセージ（予習・復習内容・時間にも言及）

ゼミに参加するには、学び究める意欲が前提です。日常の自らの取り組みがなければ、自ずと発表内容に現れてしまうものです。評価は各人の努力にかかっています。

また、本授業を受講するにあたり、あらかじめ調査および資料等に目を通しておくこと（予習60分程度）、授業後には授業で学んだことを確認し、研究に取り組んでください（復習60分程度）。

⑬ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス	講義 演習 その他	児玉 満
2	専門ゼミIで得られた研究成果報告の準備	講義 演習 その他	児玉 満
3～4	専門ゼミIで得られた研究成果の報告・ディスカッション	講義 演習 その他	児玉 満
5～10	卒業研究、製作物の作成	講義 演習 その他	児玉 満
11～14	卒業研究の中間報告	講義 演習 その他	児玉 満
15	前期のまとめ	講義 演習 その他	児玉 満
16	夏季休暇中課題の確認・ディスカッション	講義 演習 その他	児玉 満
17～20	卒業研究・成果物の進捗・ディスカッション	講義 演習 その他	児玉 満
21～25	プレゼンテーションの準備・ディスカッション	講義 演習 その他	児玉 満
26～29	卒業研究の成果プレゼンテーション	講義 演習 その他	児玉 満
30	まとめ － 1年間をふりかえって－	講義 演習 その他	児玉 満
⑭ 科目等履修制度			
☐ 科目等履修生(学生以外の一般履修者 若干名)を受け入れてもよい。 ☒ 科目等履修生を受け入れることはできない。			
⑮ 実務家教員担当科目に関する記載			